

平成29年度（第56回）公務能率研究会議

平成29年10月19日（木）

“やさしい社会” を明石から

～関西唯一のV字回復の理由～

いずみ

泉

ふさ ほ

房穂

明石市長・社会福祉士・弁護士

自己紹介

泉 房穂(いずみ ふさほ)

- 1963年 明石生まれ
- 社会福祉士
- 弁護士
- 元衆議院議員
超党派での議員立法制定に奔走
- 元NHKディレクター
- 2011年より明石市長（現在2期目）
- 柔道3段、手話検定2級、明石タコ検定初代達人



今日の講演の流れ

- 一 **今、明石が熱い！**（5つのV字回復）
- 二 **発想を転換し、自治体の経営を**
- 三 **明石は本気**
 - 1 すべてのこどもたちを まちのみんなで応援
 - 2 障害者が暮らしにくいのは行政の責任
 - 3 被害者支援と更生支援は車の両輪
- 四 **“やさしい社会”を明石から**

一 今、明石が熱い！ (5つのV字回復)

1 来る人も 

2 住む人も 

3 赤ちゃんも 

4 税収も 

5 まちの笑顔も 



「時のまち明石」時のわらし
マスコットキャラクター



明石観光PR隊長 パパたこ

1 来る人も

明石駅前の歩行者通行量が 4割増加



明石駅前再開発ビル



魚の棚商店街

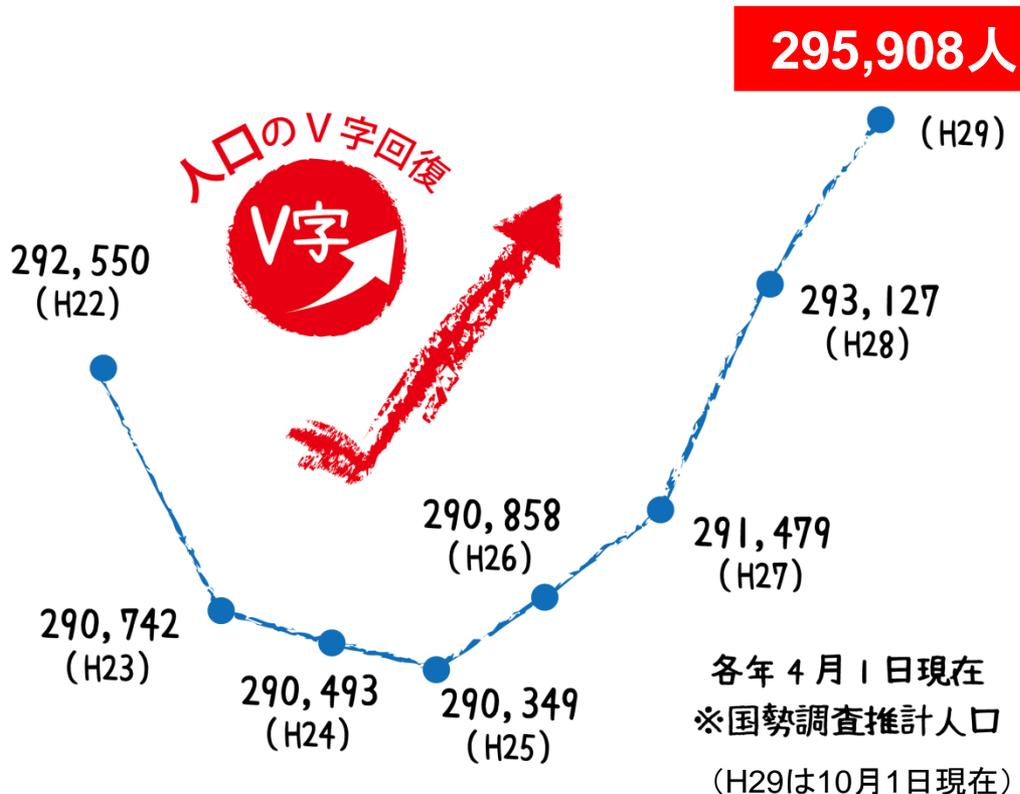
その理由は・・・

- ① B-1 グランプリ 日本一
- ② 日本一の本のビル誕生
- ③ こどもと遊びに行くなら明石



2 住む人も

人口減少から一転して 4年連続増加
平成29年8月には、過去最高人口を突破



大都市からの転入増が特徴 (神戸市や姫路市から大量流入)

(単位：人)

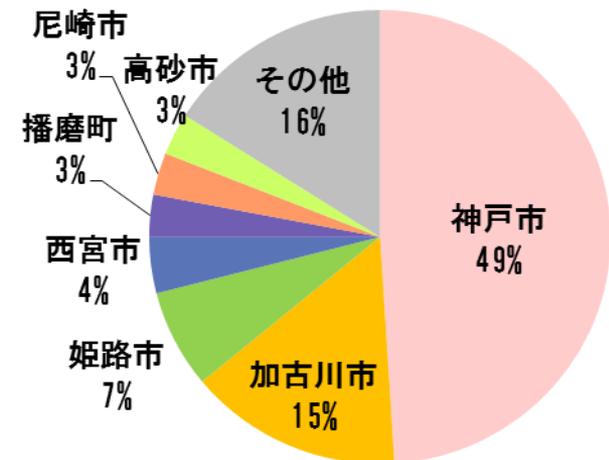
明石市	神戸市	加古川市	姫路市	西宮市	尼崎市
+1,111	-1,660	-921	-920	-178	-110

(兵庫県内の主な市：平成29年1～6月の人口動態)

TOPICS

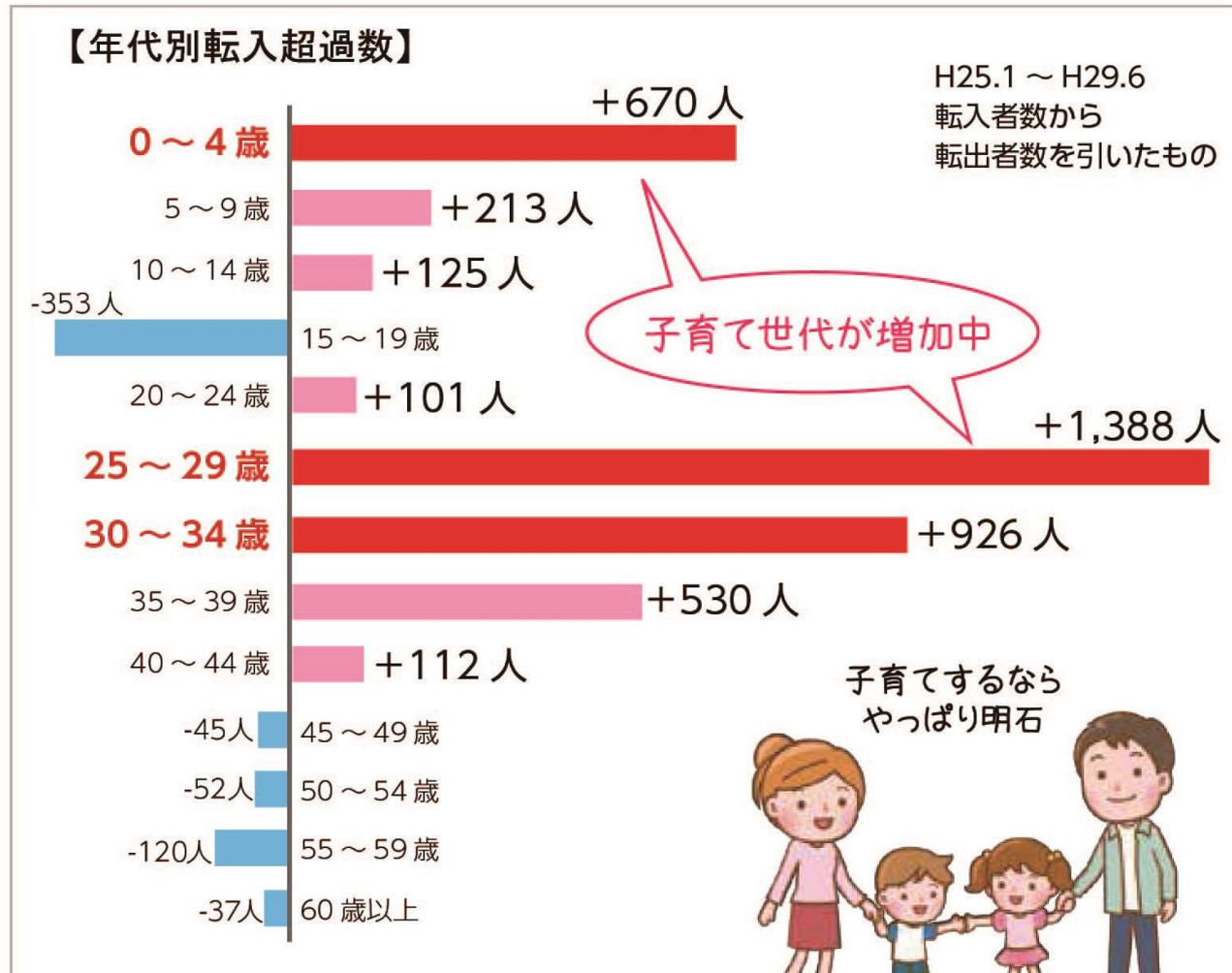
※+1,111人という人口増加数は、
昨年同時期の約1.1倍！

※今年に入り、毎月連続で人口が増え
続けているのは、県内で**明石市だけ**
(明石市でもH5以来、24年ぶり)



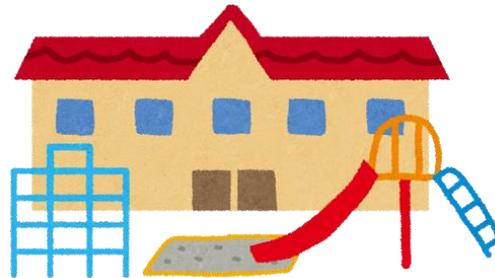
(明石市への転入者の割合)

しかも、子育て層ばかり！



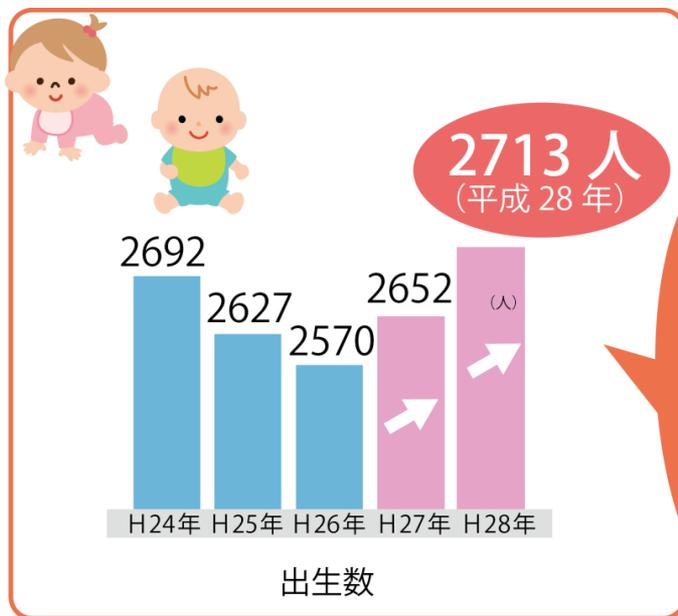
その理由は・・・

- ① **3つの無料化**
(保育料、医療費、遊び場)
- ② **本気のこども総合支援**
- ③ **“比較広報”**
(官民連携のシティセールス)



3 赤ちゃんも

社会増のみならず**自然増**も



合計特殊出生率 (平成27年度)

明石市	1.58
兵庫県	1.48
全 国	1.45

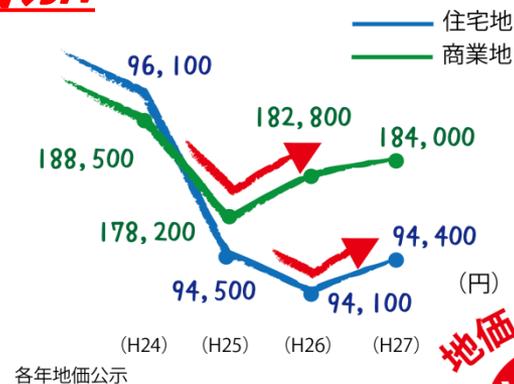
子育て層の増加 × 出生率の上昇

4 税収も

人口と地価の回復により **税収も V字回復**
市の基金残高も **4年連続増加**

税収額

(個人市民税・固定資産税・都市計画税)



地価のV字回復 

H26、27年 2年連続で上昇!

基金のV字回復 



その理由は . . .

納税者増で、
個人市民税 6億円増



住宅需要増で、
固定資産税・都市計画税 12億円増

さらに来年度からは、**事業所税も**

5 まちの笑顔も



これぞ **“アカシノミクス”**

法政大学
湯浅 教授

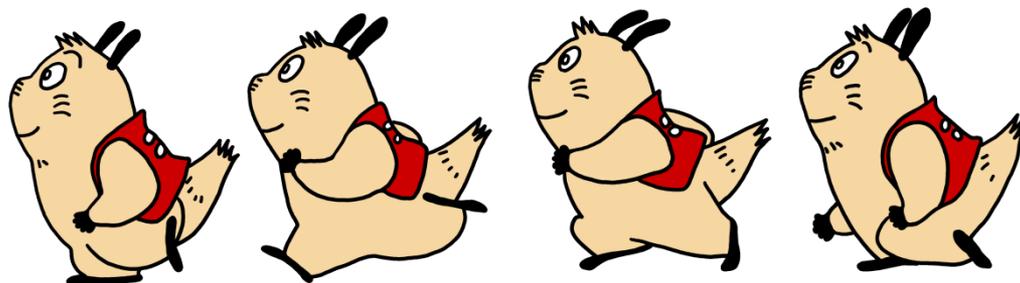


二 発想を転換し、自治体の経営を

依存体質からの脱却

…今、ここで、何をすべきか？

▷ 自己責任経営への**発想の転換**



発想の転換

<3つのポイント>

1 昨日までと同じ**明日**ではない

時代の変化

2 隣町と同じ**我が町**ではない

まちの特性

3 市民に近いのは国よりも**自治体**

上下関係からの脱却

自治体経営

<7つのポイント>

- 1 “我が町” を知り
- 2 “ビジョン” をもち
- 3 “戦略” をえがき
- 4 “ひと” をあつめ
- 5 “カネ” をあつめ
- 6 “時代” を先取りしながら
- 7 “市民ニーズ” に応え続ける

1 “我が町” を知り

明石市の概要

ヒューマン・ジャストサイズ・シティ

市民に身近で 自立経営可能な まち

人口 約30万人

面積 約50km²

電車で37分！

神戸、姫路、大阪の近隣
交通の利便性が高い！

家賃相場も周辺都市より
安い！

魅力的なベッドタウン



明石市の概要



子午線上に建つ
明石市立天文科学館

時の
まち



明石城はさくらの名所

歴史の
まち



世界最長
明石海峡大橋



海の
まち

愛されるブランド
明石鯛



明石たこ大使 さかなくん



© 2015 ANAN and Tm.

明石市の特性

① 地理的特性

(都市近郊、海沿い、狭い市域)

② 機能的特性

(城下町、ベッドタウン、神戸生活圏)

③ イメージ

(魚のまち、気候温暖、のびのび)

2 “ビジョン” をもち

どんなまちにするか . . .

目指すは、ミニ神戸ではなく、
家族で暮らしたいまち

○暮らす

×学ぶ

○育てる

×働く

×遊ぶ

目標の明確化と共有化



地域創生総合戦略（トリプルスリー）

明石市が今後5年間で目指す

3 明石のトリプルスリー

もっと住みたい・住み続けたいまちへ



本気で目指す、30万人



子育てしやすいまち



貸し出し冊数300万冊

3 “戦略” をえがき

- ① こどもを核としたまちづくり
(未来)



- ② セーフティネットの充実
(安心)



市民が選んだ明石の「たからもの」

市民が選んだ明石の「たからもの」総合ランキング

	1位	玉子焼 (明石焼)
	2位	天文科学館
	3位	明石城 (明石公園)
	4位	時のまち
	5位	子育てしやすいまち
	6位	タコ (マダコ)
	7位	イカナゴ
	8位	タイ (マダイ)
	9位	過ごしやすい気候
	10位	魚の棚商店街

※広報あかし平成29年1月1日号企画「みんなで選ぼう！
明石のたからもの」アンケート結果より

タコやタイをおさえて
「子育てしやすいまち」が
5位にランクイン！！

4 “ひと” をあつめ

- ① 専門職の活用
(弁護士・保健師など)
- ② 人事のあり方の見直し
(適時 適材 適所)
- ③ 職員の意識改革
(市民目線)



5 “カネ” をあつめ

① 予算シフト

(やりくりは可能)

② 中間層の転入促進

(納税者を呼び込む)

③ 税金へのこだわり

(市民からの預かりもの)



6 “時代” を先取りしながら

全国初の “あたりまえ” の施策

- 離婚時のこども支援
- 無戸籍児への総合支援
- 障害者配慮条例（合理的配慮への助成）
- 犯罪被害者への賠償金立替制度
- 再犯防止・更生支援モデル事業
- 外来種（アカミミガメ）対策

…などなど

両親離婚の子どもも養育支援事業

明石市モデル法制化へ

超党派議連

超党派の国会議員で

立ちせたい考え。

婦で考えてもらおうよう

つくる「親子断絶防止

馳氏は「親子の面会

にしている。

議連」の事務局長、馳

交流を実現する全国ネ

馳氏は骨子案として

浩衆院議員（自民）

ットワーク（東京）が

離婚届提出時の規定に

は22日、両親が離婚し

開いたシンポジウムで

加え、夫婦の取り決め

た未成年者の権利を守

「明石の取り組みをナ

が円滑にまとまるよう

る明石市の事業を参考

シヨナルスタンダード

国や自治体が支援する

に新法制定を目指す方

にした」と述べた。

―ことなどを挙げた。

針を示した。離婚後の

明石市は2014年

シンポに参加した泉

親子の面会交流や養育

度から、親の離婚や別

房穂・明石市長は「明

費の分担について夫婦

居に伴う子どももの養育

石の取り組みを導入す

間で取り決め、離婚届

支援事業を始めた。面

る自治体が増え始めて

に添付するよう促す規

会交流や養育費の取り

おり、法制化で一気に

定を盛り込む。遅くと

決めを記す書類を離婚

広がる」と期待を寄せ

も来年の通常国会で成

届と一緒に配るなど夫

た。

（段 貴則）

全国初再犯防止条例

明石市、就労や福祉支援

来年度にも

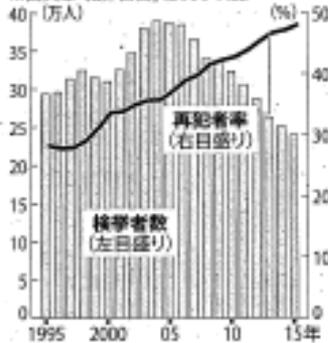
元受刑者らの社会復帰を支援し、再犯防止につなげようとして、兵庫県明石市は全国初の「再犯防止条例」を制定する方針を固めた。認知症の高齢者や知的障害者らが福祉の支援を受けにくいまま、万引

まくりなどを繰り返すケースが社会問題となっており、市が就労や福祉手帳などを支援することなどで再犯を防ぐ狙い。2018年度中の制定に向け、検討会議を決定させる。

「再犯防止条例」は、元受刑者らの社会復帰を支援する施策を国や自治体に求めているが、法務省は「自治体が条例を作る動きは聞いたことがない」としている。

明石市は16年度から、刑事事件を起した認知症の疑いのある高齢者や知的障害者への支援を始めた。刑務所を出所した人だけでなく、逮捕後にも不起訴や執行猶予となった人も対象にした先進的な取り組み。市が職員と

刑法犯の検挙者数と再犯者率
※出典は「犯罪白書」(2016年版)



して採用した弁護士や法務省の出向職員らが人が窓口となり、検察や刑務所、社会福祉協議会などと連携し、今年8月までに32人を相

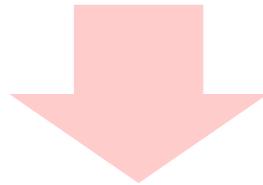
対した。窃盗で服役した認知症高齢者の介護保険の申請や、出所した高齢者の福祉施設入所などを支援した。条例では、こうした取り組みを強化し、市民に施策への理解を求めるとも検討する。歳暮兼夫・市更生支援担当課長は「支援を継続的にを行い、犯罪の少ない町づくりにつなげたい」と話す。

16年版の「犯罪白書」によると、検挙者数に占める再犯者の割合(再犯者率)は15年は48%で、20年前の1・7倍に増加。刑務所を出所した人の9割が5年以内に再入罪していた。再犯までの期間は高齢になるほど短く、仕事や身寄りがないことが社会復帰を妨げていると指摘されている。国は08年以降、「地域生活支援センター」を全国に設置し、元受刑者の更生支援を進めているが、不起訴や執行猶予のケースは原則、対象外だった。他の自治体でも支援の動きがある。滋賀県は12年度から、不起訴になった高齢者らの支援を定着支援センターに委託。兵庫県は15年度から、執行猶予や仮釈放で保護観察中の人を雇用した企業に補助金を支給している。

【森田浩六】

7 “市民ニーズ” に応え続ける

× “ノイジィ・マイノリティ”
のニーズ



○ “サイレント・マジョリティ”
のニーズ

- ①こどもを核としたまちづくり（未来）
- ②セーフティネットの充実（安心）

三 明石は本気

1 すべての**こども**たちを
まちのみんなで応援

2 **障害者**が暮らしにくいのは
行政の責任

3 **被害者支援**と**更生支援**は
車の両輪

1 すべてのこどもたちを まちのみんなで応援

《市長選に立候補したときからの変わらぬ思い》

まちをつくるのは“ひと”

これからの明石のまちをつくるのは、

今の明石のこどもたち

こどもたちに借金を残すような税金の無駄遣いをやめ

頑張るこどもたちをまち全体で応援する

そんな明石をつくっていききたい

それが明石の未来につながると信じている

(市長選 法定選挙ビラに掲載した一文より)

こども支援

<4つのポイント>

1 **すべての子どもたちを**

誰一人として見捨てない ⇔ × 貧困家庭限定

2 **まちのみんなで**

行政や地域や市民みんな ⇔ × 親だけに責任

3 **本気で応援**

あれもこれも全部やる ⇔ × 予算の範囲内
(ワンストップ、チームアプローチ、アウトリーチ)

4 **こども目線**

一人ひとりに寄り添う ⇔ × 行政目線や親目線

明石市のこども総合支援

元気を支える

- 妊婦全数面接
- 乳幼児健康診査
- あかしこども広場

虐待防止

- 乳幼児全数面接
- 児童養護施設の設置
- 児童相談所の設置

寄り添う支援

- 離婚前後の養育支援
- 無戸籍者支援
- 里親100%プロジェクト
- あかし版こども食堂

子育て応援

- 中学生までの医療費無料化
- 第2子以降の保育料無料化
- 公共施設の入場料無料化

学びを応援

- 中学校給食の全校実施
- 30人学級の導入
- 本のまちの推進



経済的負担の軽減

3つの“無料化”

- ① **こども医療費**→中学生まで**完全無料**
- ② **保育料**→第2子以降は**完全無料** 
- ③ **施設利用料**→何時間遊んでも**無料**

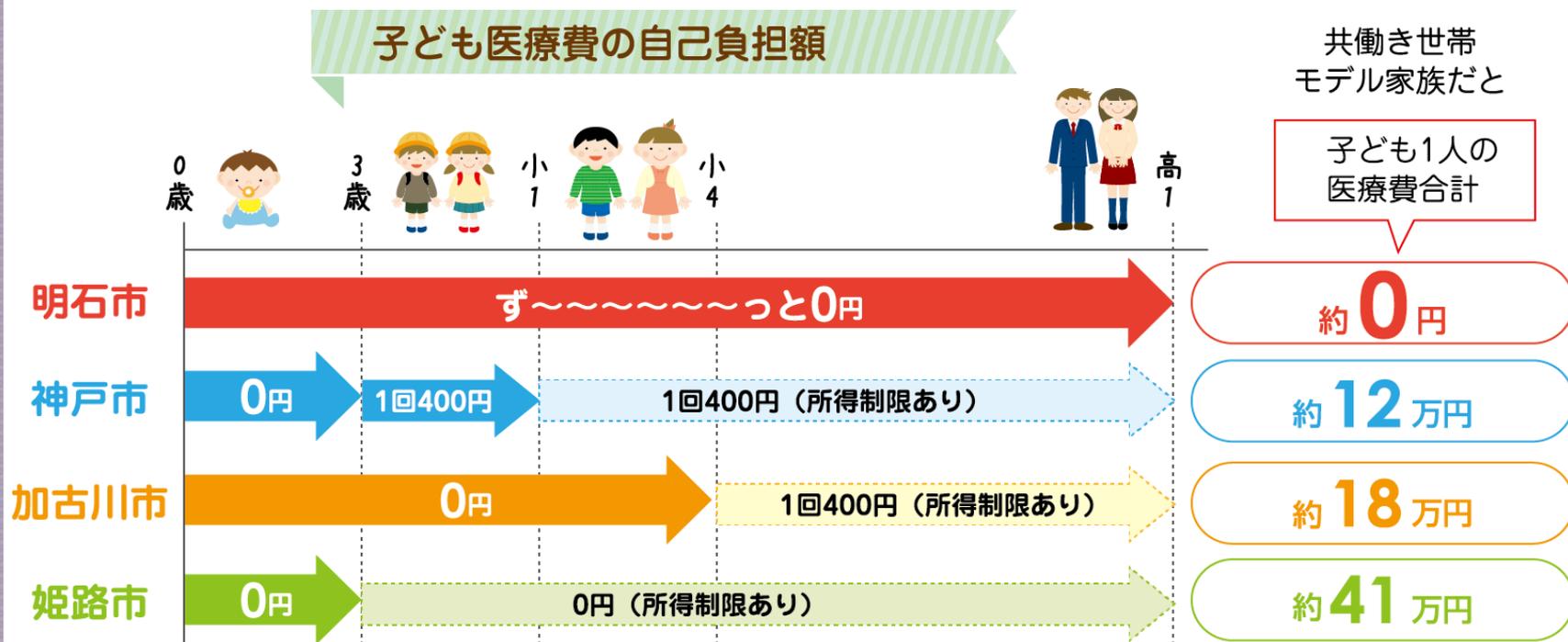
Point!

所得制限なし!

子育てに関心が高く、
教育熱心な世帯を呼び込む

① こども医療費

→中学生まで完全無料



② 保育料 → 第2子以降は完全無料

父 年収 450万円

母 年収 250万円



母 30歳
契約社員



長男 6歳
小学生



次男 0歳
保育所



長女 3歳
保育所



父 34歳
正社員

明石で生まれた子どもたち

3人の子どもたちにかかる保育料・医療費は?

	明石市		独自の補助がない市	
	保育料	医療費	保育料	医療費
長男	約301万円	0円	約301万円	約56万円
長女	0円	0円	約199万円	約56万円
次男	0円	0円	約199万円	約56万円
合計	約301万円		約867万円	

1人目出産から3人目が中学校を卒業するまでの21年間で

合計約 **566万円** 負担減に!!

たとえば566万円あると...

2年に一度、家族揃って
南の島でゆっくり!(1回約54万円)



③ 施設利用料 →何時間遊んでも無料



明石市立天文科学館



明石駅前再開発ビル内
親子交流スペース「ハレハレ」



明石市立文化博物館



明石海浜公園 プール

教育環境の充実

① 中学校給食を市内全校で実施（H30.4）



H28.9よりモデル校3校で先行実施

② 小学校1年生、30人学級の実施



③ 本のまちの推進

日本一の本のビル



ブックスタート…4カ月健診時にプレゼント
子どもに伝えたい**本感動大賞**…本の帯コンクール



一人ひとりのこどもたちに寄り添う

① 離婚前後のこども養育支援

全国初

② 無戸籍者支援

全国初

③ 里親100%プロジェクト

全国初

④ あかし版こども食堂

全国初

⑤ 児童相談所の設置

法改正後初

② 無戸籍者支援

全国初

- ・ 支援体制の構築
- ・ 総合的支援の実施

▷ サポートナンバーカードの交付



無戸籍の子救済急ぐ

家庭の複雑な事情などを背景に親が出生届を出さなかった「無戸籍」の子どもの支援を拡充しようと、明石市は4日、無戸籍児の早期把握の方法を探る庁内チームを設けた。当事者や弁護士らが参加して支援の在り方を検討する組織も発足させる。いずれも全国に先駆けた取り組みで、支援者らは「全国の自治体のモデルケースになってほしい」と期待している。

(望月弘行)

明石市に新組織



無戸籍の男性(左前)に特養などを教える元教員(2014年10月、明石市役所で)

同市は昨年10月、専用の相談窓口を開設し、弁護士出身の市職員ら3人に対応。これまで5件の相談を受け、戸籍の取得などを助言したり、調停や裁判を担当する弁護士を紹介したりしてきた。義務教育を受けていない40歳代男性に算数を教える支援も実施。男性は、今年3月までに計算や割り算などを学んで卒業。「買った物した時に割引や約り銭の計算が得意になった」と喜んでいました。

法務省によると、無戸籍者は全国で6000人、兵庫

早期把握へ庁内連携 弁護士ら支援策検討

県で31人(いずれも8月現在)。明石市は現在4人で0歳児が2人、5歳と7歳が各1人いる。保育所などを通じて発覚したケースもあり、市は「病気が切実な状態になってからでない」と判断しないケースがあるかも」と、未確認児の存在を危惧する。

この日、設置された庁内チーム(市無戸籍者総合支援タスクフォース)は、児童福祉課や国民健康保険課、地域医療連携などの係長ら職員11人で構成し、民生委員や病院、学校と連携し、早期把握に努めるという。

また、「支援検討会議」を28日に開く。無戸籍者や支援者、大学教授、弁護士、法務局の担当者がメンバーで、国民健康保険に加入する場合、未加入時の保険料が支払えなかったらどうするかなど、個別の様々なケースを話し合っていくという。

泉陽市長は「もっと早い段階で取り組むべきだった。支援の対象者が少数であっても、生まれてくる子どもはかけがえのない人。目の前で困っている人に出来る支援をしていく」と話した。

③ 里親100%プロジェクト

全国初

川嶋あいさんとコラボしたイベントも

平成29年10月9日(月・祝)14:00~16:00

明石駅前再開発ビル 市民広場特設ステージ



④ あかし版こども食堂

全国初

こどものみならず高齢者も

▷ 気付き・支援の拠点

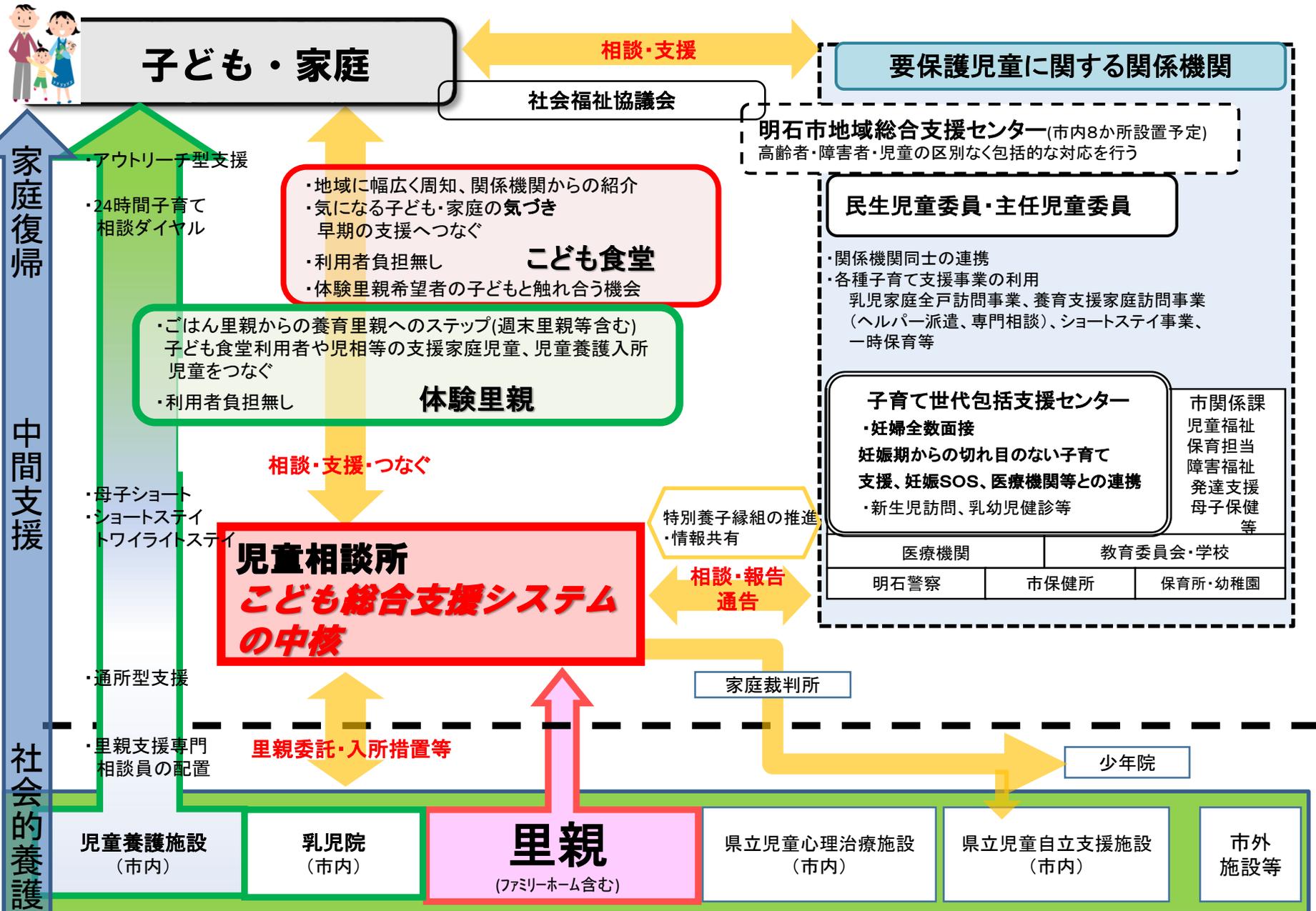


市内全小学校区
に設置予定



⑤ 児童相談所の設置

【明石市の子ども支援の推進体制】



2 障害者が暮らしにくいのは行政の責任

《こどものころからの変わらぬ思い》

私には階段が必要だ。なぜなら私は鳥のように飛べないからだ。

「お金がないから」「スペースがないから」という理由で階段は作れません、と言われたら困ってしまう。

車椅子で移動する人にはスロープやエレベーターが必要だ。なぜなら歩けないからだ。

階段がないビルや駅はないが、スロープやエレベーターは、お金やスペースがないからという理由が通り、それで“あたりまえ”とされてしまっている。

その“あたりまえ”そのものを変えていきたい。

そう思って、私は政治家を志した。

障害者支援

<5つのポイント>

- 1 支援の対象 ▶ 必要とするすべての人に
- 2 支援の視点 ▶ その人が
- 3 支援の内容 ▶ 必要としている支援を
- 4 支援の場 ▶ その地域で
- 5 支援の責任 ▶ 行政の責任において

障害者が暮らしにくいのは、誰のせい？

...それは、社会が“障壁”を
つくっているから

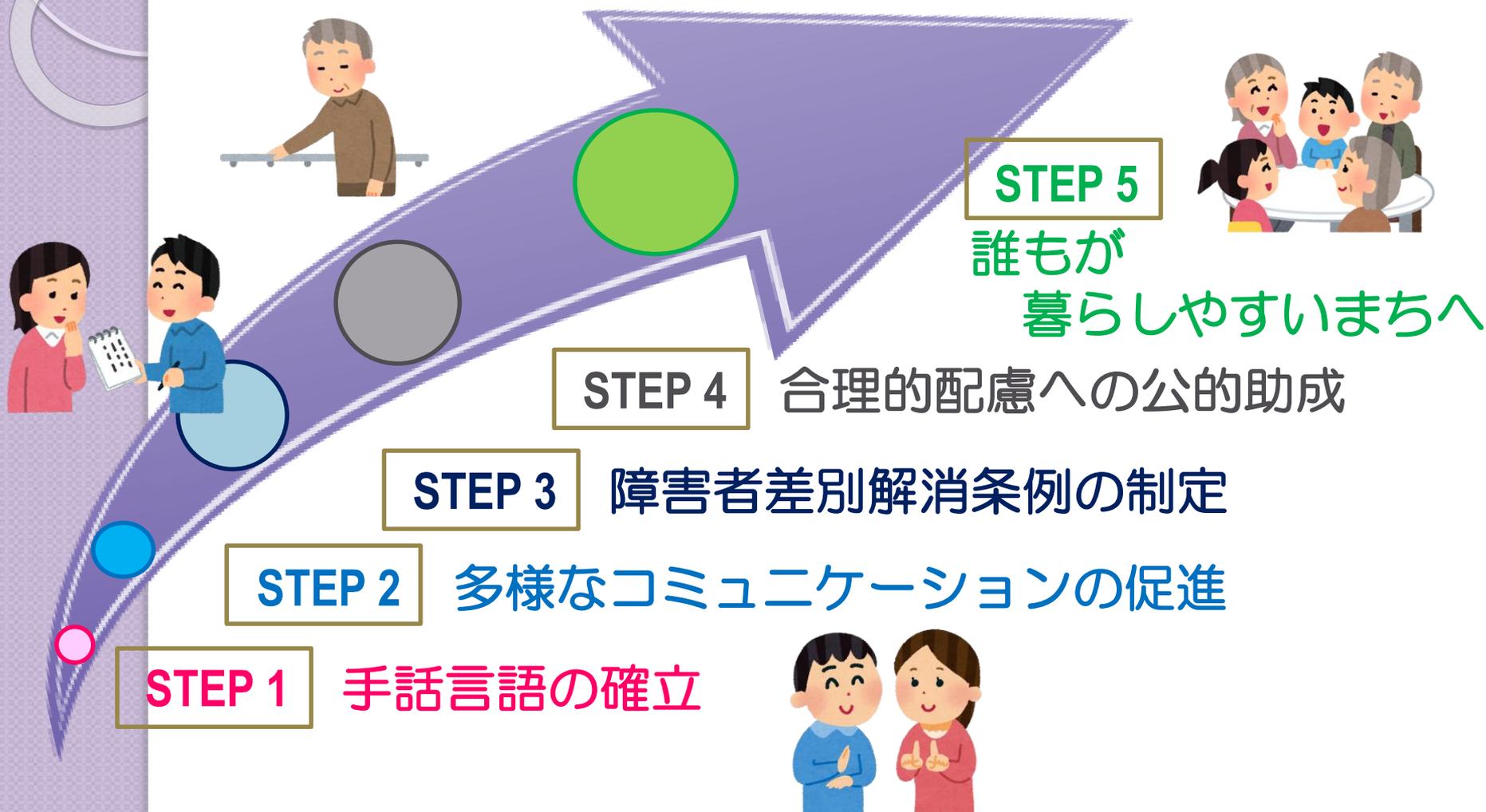


▷障害者が暮らしやすい社会を作るのは



行政（自治体）の責任

明石市の障害者支援施策



STEP
1

STEP
2

手話言語・障害者コミュニケーション条例

全国初

条例の特徴

手話言語
条例

+

情報
コミュニケーション
条例

=

明石市の

手話言語・障害者
コミュニケーション条例



小学校での手話教室



職員手話研修



STEP
3

障害者配慮条例

障害者に対する配慮を促進し
誰もが安心して暮らせる共生のまちづくり条例

- ・ 障害者差別解消法に合わせてH28. 4. 1施行
- ・ 特徴は「合理的配慮の促進」

見える優しさ次々と

明石市「障害者配慮条例」施行から半月



車いすでも出入りしやすいよう、市の助成を受けて導入した簡易スロープ
|| 明石市本町1のくろみや本店で

助成制度は、市民や事業者らが過重な負担を理由に障害者への「配慮」を断念しないよう応援する目的で設けた。飲食店の点字メニューなどコミュニケーションツール製作費（上限5万円）▽筆談ボードや折りたたみ式簡易スロープなど物品購入費（同10万円）▽簡易スロープや手すりなど工事施工費（同20万円）といった補助が受けら

簡易スロープ設置など

段差があり、スロープは障害者だけでなく、ベビーカーを運んだ母親からも好評という。取締役の森本真一郎さん（35）は「後回しにしてしまうことが多いテーマだが、市の助成を受けて市の方と一緒に考え、短い期間で導入できた。地元根付いた店づくりを心掛けているので、障害者の方も安心してもらえるきっかけになれば」と話す。

助成で民間業者後押し

明石市が今月1日に施行した「障害者に対する配慮を促進し誰もが安心して暮らせる共生のまちづくり条例」に基づき、市の助成を受けて段差解消の簡易スロープや点字メニューなどに取り組んだ民間事業者が、14日時点で早くも8事業者（助成件数10件）に上ることが明らかになった。市が記者会見で公表した。他にも8事業者（11件）が申請中で、泉房穂市長は「具体的な形で、まさに優しさが実ってきた。行政として責任を持って後押しを続けたい」と話す。

14日現在で実施されたのは点字メニュー6件、簡易スロープ1件、筆談ボード3件。条例制定に向けた検討委に参加した民間事業者を通じて広がったという。

同市本町1の洋菓子店「くろみや本店」では、簡易スロープ、点字メニュー、筆談ボードを併せて導入した。入り口に8センチ

STEP
4

公的助成制度

全国初

合理的配慮の提供を支援する助成制度について

明石市では、障害のある人もない人もともに安心して暮らせる共生のまちづくりを推進していくために、事業者や地域の団体が障害のある人に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用を助成する。

1 制度を利用できる団体

- ① 事業者など民間の事業者
- ② 自治会など地域の団体
- ③ サークルなどの民間団体

2 助成の対象になるもの

合理的配慮が簡単に提供できるようにするためのもので、以下にあたるもの



コミュニケーション ツールの作成

点字メニュー
チラシの音訳
コミュニケーションボードなど



上限額 → 5万円

物品の購入

折りたたみ式スロープ
筆談ボードなど



上限額 → 10万円

工事の施工

簡易スロープや手すりなどの
工事の施工に
かかる費用

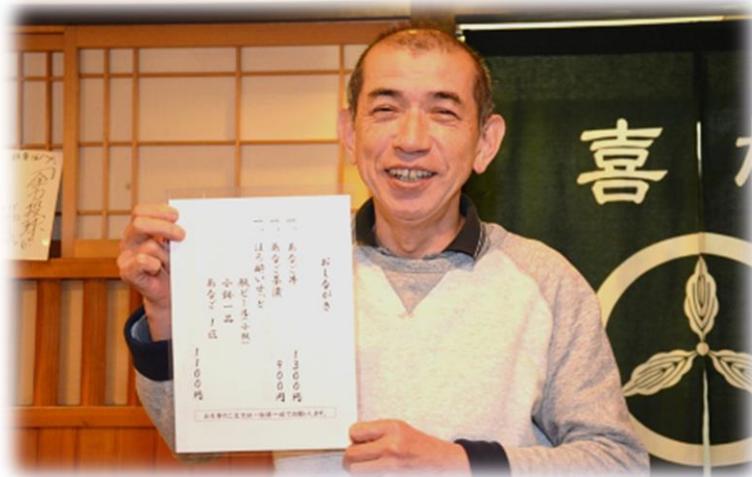


上限額 → 20万円

まちの様子



筆談ボード



点字メニュー



簡易スロープ

STEP
5

誰もが暮らしやすいまちへ



マクドナルド



ジュンク堂書店



スターバックス





観光案内所



市役所



明石駅前再開発ビル内にも筆談ボードや点字メニューが



3 被害者支援と更生支援は車の両輪

<犯罪被害者支援>

- ・賠償金立替制度の創設 **全国初** など

▷明日被害に遭うかもしれない

「すべての市民」のためのセーフティネット施策

明石市議会は20日、犯罪被害者やその遺族を支援する条例の改正案を、賛成多数で可決した。加害者が支払うべき損害賠償金を支援金として立て替え払いできることなどを盛り込んでおり、来年4月1日に施行する。市によると、自治体の立て替え金制度は全国で初という。被害者らに30万円まで支給できる現行の条例を改正しては、被害者支援団体など意見交換を続けてきた。可決後に市役所で会見

犯罪被害者支援条例改正案を可決



可決した条例改正案について感想を述べる被害者団体のメンバー＝明石市役所で

損害金を立て替え

明石市、自治体で全国初

した全国犯罪被害者の会（あすの会）代表幹事代行、林良平さん（60）は「こうした条例が全国の標準になることを強く望む」と期待した。同会副代表幹事で、神戸連続児童殺傷事件で次男を亡くした土師守さん（67）も「立て替え金以外でも着実に進んだ条例」と評価した。【駒崎秀樹】



犯罪被害者等支援
シンボルマーク
ギョつとちゃん

＜更生支援＞

- ・更生支援ネットワーク会議の創設 **全国初** など
（司法・行政・地域が連携して再犯防止）

あかし更生支援フェアの開催



講師 江川 紹子氏

明石はリーディングシティ！
これからの取り組みにも期待
しています



【参加した市民の声】

もっとこういう取り組み
を広めて行って欲しいし、
頑張ってもらいたい。

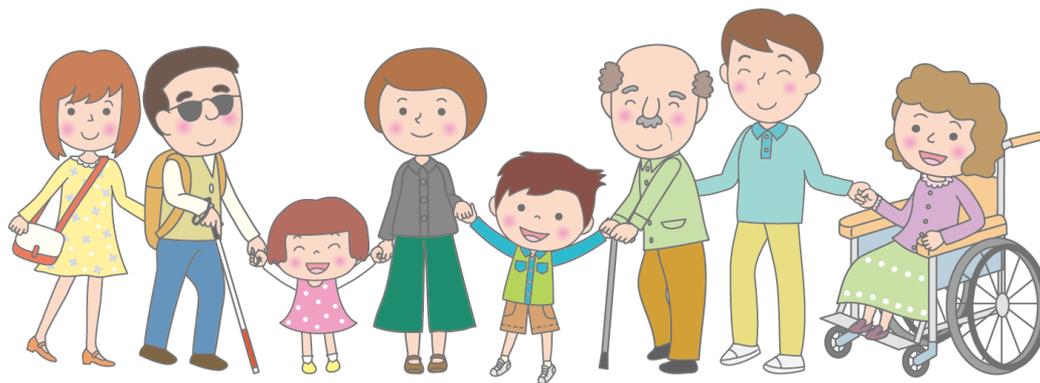


四 “やさしい社会” を明石から

“やさしい社会” とは・・・

お互いに 助けあい 支えあう

“あたりまえ” の社会



“明石から” とは・・・

① 国を待つことなく明石から

(市民により近い基礎自治体から始める)

② 明石から全国に

(明石市でできることは、
ほかの自治体でもできる)



そのために必要なのは・・・

① やさしさ

▷ 想像力、真摯に聞く姿勢

② かしこさ

▷ 洞察力、本質を見抜く力

③ ほんの少しの強さ

▷ 責任感、諦めない勇気

“やさしい社会” を明石から



ご清聴ありがとうございました

